

Heart

第96号

to

心から心へ

Heart

2022.9.10



宗次ホール

2022年7月20日(水)

良き出逢いに心から感謝です!!



トヨタ産業技術記念館

2022年7月21日(木)



カクイチ
本社工場見学

2022年8月19日(金)



KAKUICHI
工場見学へようこそ



SHIN-NIHON
GROUP

— 人と建物を育む愛の環境サービス —

新日本ビルサービス株式会社



はつらつさっそう
澆刺颯爽!

もう年だから
という年はない



新日本ビルサービス株式会社 社長 関根 一成

さわやか社員の皆さん、お元気ですか！ハイ！元気で！と皆さんの声が聴こえるよつです。猛暑の中、コロナ禍第7波真っ只中、日々お仕事ありがとつございます！現場の第一線で働いてくださる皆さんが一番大事なんだと改めて実感しています。

僕は毎朝3時半に起きて、ビジョン30実現！できる！できる！できる！できる！できる！できる！必ずできる！と大きな声で祈誓しています。何度も何度も大きな声で唱和することで、不思議に自分で自分を元気づけることができますね。

7月から全事業所を対象にした「5S清流化研修会」をスタートしました。5S（整理・清掃・整頓・スマイル・さわやか）は誰でもやろうと思えばできます。そして、実際にやってみると変化し、少しずつ良くなっていくことが分かります。

働くことはもちろん生活のためでもあります。生き甲斐そのものだと思います。

一所懸命に働くことで、お客様のお店や事務所、病室や客室がキレイになり、喜んでくださり、感謝のお言葉を頂ける。単なる作業でなく、少しでも改善し、ムダを省き、効率よく、キレイにできる創意工夫をする。5S実践の積み重ねで必ず良くなってきます。いくつになっても好奇心旺盛に学び続け、感動し、仕事と人生の喜びを生涯青春！で体感する。

さあ、楽しく5S清流化を実践しましょう！

澆刺颯爽!

平和な日本に居ても生活のことや、健康の心配、豪雨災害など、当事者になっただら大変なことが誰でも起こります。世界を見ると、思いもよらなかつ

たロシアのウクライナ侵略戦争、中国による台湾危機、今日食べるものがない食糧危機など今の日本に居ると想像もつかないことが現実になっており、「人間ってなんだ」とつくづく考えさせられます。

僕は難しいことは分かりませんが、今日一日を一所懸命、ベストを尽くす、どんなときにも澆刺颯爽、さわやかに生きることだに期しています。一言で言えば生涯青春！です。もう年だから、という年はないのです。

日本を代表する演出家・鴻上尚史さんの著書に同じことが書かれています。

「とにかく、他人に向かって、もう年なんだから」とかける言葉ほど無意味な言葉はありません。無意味かつ有害さで言えば、二を争うでしょう。もう年なんだか



▲島忠草加舎人店「5S清流化研修会」にて。生涯青春!!

ら」と言われた人はその言葉に反発して自分の体と対話することなく無理をしてしまつか、その言葉を完全に信じて体より先に疲れてしまつかです。僕はその通りだ！と思いました。

先達て三協立山アルミ事業所の石井幸子さんから嬉しいお手紙を頂きました。

「この度は永年勤続(5年)のお祝金を頂きありがとうございます。この年まで働かせて頂き、こちらの方こそ感謝しております。

友人には、その年まで働けるなんてうらやましいね、と言われます。お金

を出してスイミングやカーブスなどで
ダイエットするのに、お金を頂いてダ
イエットできるなんて、ありがたない
なと思って日々がんばっております。

5年前高鳥マネジャーに採用して頂
いて、教えを守って丁寧にきれいな
モットーに5Sを究めるを日々頭に入
れながら、整理・清掃・整頓・スマイ
ル・さわやかを実践しています。整理
は特にムダな物は置いていませんが、
更衣室と清掃道具が一緒の部屋にあり、
浦澤マネジャーが来た時、整理してく
ださい、マネジャーは整理・整頓が上
手だなと感心してありがたく思ってい
ます。

私は毎日ギリギリの時間まで仕事を
しておりますので(30分前に行って仕
事していますが、ギリギリに終わら
ず)私は仕事が遅いわけでも早いわ
けでもありません、普通だと思いま
す。手抜きをすれば余裕が出来るので
が、性格的に手抜きが出来ませんので、
いつもギリギリになります。でも自分
では満足感があり、ありがとうござい
ましたと、独り言を言って感謝をして
帰ります。

お客様とお会いして写真に写ってい
る元気印の社長は、お客様にとって絶
対的に新日本ビルサービスを信頼して
いるのだなと思います。私も三協立山
アルミ様に信頼して頂けるようにがん

ばりたいと思います。本当に永年勤続
のお祝いありがとうございます」

石井幸子さんへ：もう年だから、
という年はありません。誠実に一所懸
命に働いているから元気なのです。

これからも元気溼刺に、さわやかに、
生涯青春！です。

もう年だから、という年は ない

先達で、小平市平櫛田中彫刻美術館
を訪問しました。平櫛田中先生は、文
化勲章を受賞した日本の彫刻界の至宝
で、107歳で永眠されました。美術館の
場所は、昭和44年、田中先生が98歳の
時に建てられた自宅兼仕事場で、晩年
を過ごされた所です。

平櫛田中先生の有名なエピソードは
100歳のときに、20年後の制作のため彫
刻用のクスノキの原木を取り寄せたこ
とで、記念館にその原木がそのまま
残っています。

22年の歳月をかけて完成させた、田
中先生の代表作「鏡獅子」(国立劇場
に設置された4分の1の大きさの作品
が展示)を始め、約40点の彫刻作品が
鑑賞でき、物凄い執念、生命エネルギー
を感じました。

田中先生の有名な言葉「六十、七十
は はなたれこぞう おとござかりは



平櫛田中先生の代表作
「鏡獅子」



▲六十、七十は はなたれこぞう
おとござかりは 百から百から

百から百から」は痛快ですね。「いま
やらねば いつできる わしがやらね
ば たれがやる」その通りですね。

百歳を超えてからも挑戦し続けた平
櫛田中先生の生涯青春/生涯現役/の
生き様に力と勇気と信念を与えて頂き
ました。

6月25日(土)、日本一の流通企業を
創り上げたイオン創業者の岡田卓也氏
の実姉で、イオングループの人事と教
育を一手に担った小嶋千鶴子氏(106歳
没)の創設された個人美術館「パラミ

タミュージアム」を浅見専務と照井常
務と訪問しました。

小嶋千鶴子氏は73歳から陶芸を始め
て、3000個を作る目標を85歳で達
成されました。夫君とご自身の作品、
生涯にわたって収集された陶器と絵画
が展示されています。美術館の外には
里山と彫刻がある素敵な庭園があり、
散策することが出来ます。美術館を
ゆつくりと鑑賞し、小嶋千鶴子氏の遺
影に手を合わせ、物凄い生命エネル
ギーの息吹と真善美を体感しました。
ちょうどお昼時になったので、パラ
ミタミュージアムの近くにある自然書
の美味しいお店で昼食と日本酒を頂き、
大満足でした。

僕は素晴らしい場を訪問したとき、
美味しいものを食べたとき、家族と社
員を連れて行きたいと強く思います。
いくつになっても感動し、道を究め、
仕事と人生を楽しむ。素晴らしい先達
の人生に触れて、「もう年だから、と
いう年はない」と実感しました。

▼小嶋千鶴子氏の
陶芸作品



5S清流化研修会スタート!!

東京営業部 部長 縄野 智也



コロナへの感染対策と猛暑での業務、さわやか社員の皆様には感謝しかありません。

いつも最前線での業務を本当にありがとうございます。

節目の年度である第30期も早くも4か月が経ちました。

対面によるさわやか社員研修会を自粛して各現場実施となり数年が経ちますが、今年度より“5S清流化研修会”として名前も新たに内容をリニューアル致しました。

変更により目指す目的は以下の3つです。

- ① それぞれが考働できる人財になっていこう
- ② 自立した現場創りの核となる理念を5S活動から学ぼう
- ③ 改善内容の水平展開で社内活性化を目指そう

各現場の小さな改善内容が、他の困っている現場の問題解決に繋がるかもしれません。内容の大小に関わらず、さわやかフォーラムへのエントリーを目指してみましょ!!

その第一歩として5S清流化冊子をめくって貰えると嬉しいです。



◀冊子名が変わりました!!



▲小野チーフが大活躍！自立型現場の島忠草加舎人店事業所の皆さん

▼国藤次長の講義に耳を傾けるワカバウォーク事業所の皆さん



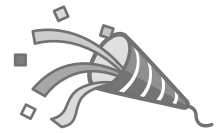
▲オンラインでも関根社長の元気パワーが届きます。日本スクール・日本動物専門学校事業所の皆さん



◀3事業所合同です！大宮宮町センタービル、NACK5、ノースの各事業者の皆さん、社長メッセージ画面に集中です



永年勤続表彰



昨年に引き続きコロナ禍の中でしたが、今年も総勢124名もの永年勤続の方を表彰することができました。中にはなんと勤続25年！四半世紀もの間さわやか社員としてお仕事を続けてくださっている方もいらっしゃいます。本当にありがとうございます。

これからもますます元気で“生涯青春！”をモットーに頑張りましょう！！

紙面には載せきれないほどの表彰者の方々がいらっしゃり、全員をご紹介できないのが残念ですが、長きに渡り“生涯青春”を実践している皆さんをご紹介いたします。永年勤続、おめでとうございます！！



▲左・5年 大島栄美さん
右・5年 宮下いつみさん
(日本キャタピラー秩父デジタルセンター事業所)

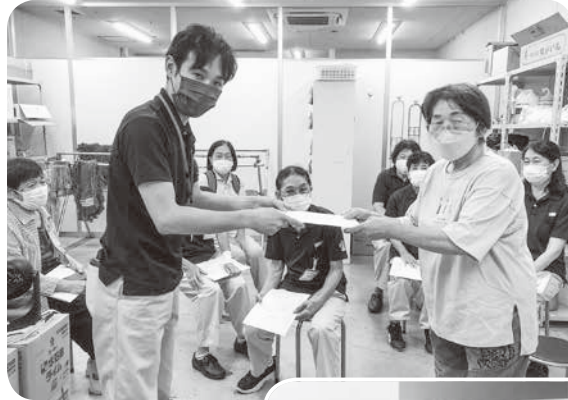


▲左・20年 高鳥ひろみさん(埼玉営業部)
右・25年 井上淳子さん(京王ブレッソイン東京九段下事業所)

▼左・5年 金澤仁さん 右・5年 荻原修兒さん
(ウニクス秩父警備)



▲10年 関口弘子さん(湯処葛西事業所)



◀20年 色摩壽子さん
(SOCOLA南行徳事業所)



▲10年 菊地桂子さん
(いなげや武蔵野関前店事業所)



◀10年 山内ノリさん
(いなげや武蔵野関前店事業所)



◀15年 山中茂史さん
(ヒューマックスパビリオン池袋サンシャイン60通り事業所)



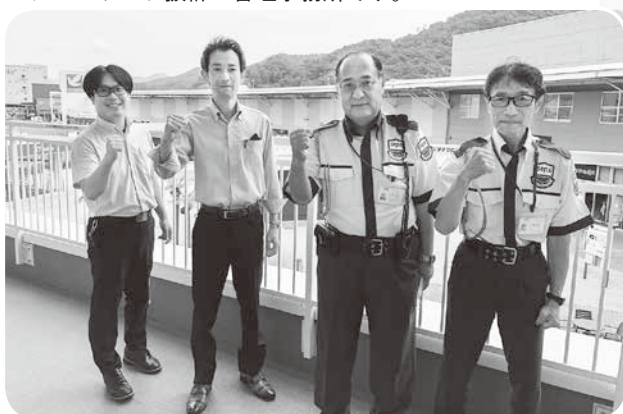
■アシコタウンあしかが

栃木県足利市大月町3番地2
営業時間 10:00~20:00 駐車場 2000台

栃木県足利市唯一の映画館、ファッション、雑貨、サービス、グルメなど魅力的な専門店が集う、大型ショッピングモールです。お子様からシニアまでお楽しみ頂けます。



▼橋本支配人、飯塚副支配人と警備士さん。
チームワーク抜群の管理事務所です。



▲私たち清掃スタッフがピカピカに磨き上げます!!

皆さん、お近くにお越しの際には、是非お立ち寄りください。

多くのお客様に安心してご来館いただき、気持ちよくショッピングを楽しんで頂けるよう頑張っていきたいと思っております。

この度有難いご縁を頂戴し、2020年4月1日より、管理運営業務、設備管理業務、セキュリティ業務、清掃業務をお任せいただいております。

施設中央にあるイベントスペース「オーバルコート」では、ステーション発表や四季折々の演出、足利市との地域連携など楽しいイベントが随時行われています。

マルシェやキッチンカーの出店もあり、お天気のいい日のお出かけにぴったりです。

建物には、モール棟、シネマ棟、ロードサイド棟など複数から構成されており、食品スーパーを核に、衣料店、100円ショップ、書店、ホームセンター、家電量販店等、知名度の高いナショナルチェーンテナントが集積しています。お買物やお食事をはじめ、家族や仲間達はもちろん、施設に訪れるお客様のコミュニケーションセンターとして、楽しい一時をお過ごしいただけます。

Ashico Town あしかが様は、敷地面積10万㎡超のマルチテナント型の大型NSCで、栃木県足利市唯一の映画館を有する大型のNSCです。

不動産投資顧問株式会社様が運用されている、商業施設 Ashico Town あしかが様のご紹介をさせていただきます。



プロパティマネジメント事業部
木村 徹

アシコタウンあしかが様

■足利市の皆さまに愛される地域コミュニティ広場「オーバルコート」です。



▲キッズパーク



◀ボートプール



▲クリスマストrein



▲足利YOSAKOI祭



▼周年祭



▲イルミネーション



▼アンブレラスカイ



▼日本赤十字献血協力
多い時は100名近く協力頂いております

足利市地域連携



▲プロギング(国体推進課)
ゴミ拾いをしながら、ジョギング



▲赤い羽根シネマ(社会福祉協議会)



▲消防フェア(足利市消防本部)



ユナイテッド・シネマユニクス秩父 7.29(金)OPEN!!

秩父地域待望の映画館のオープン!!地域の皆様の憩いの場を目指します。

ポテくまくん
©秩父市



新しさいっぱい! ユニクス秩父パワーアップ!!

▶ ユニクス秩父の警備は私達にお任せ下さい!!



◀ ピカピカに磨き上げた映画館でお待ちしております!!



観光などで近くにお越しの際は是非ユニクス秩父にお立ち寄り下さい。スタッフ一同心よりお待ちしております。

考えております。

新日本ビルサービスは施設開業以来、ユニクス秩父の運営管理業務を任されており、警備・清掃の各スタッフは日々安心・安全で、居心地の良い施設を提供できるよう業務に励んでおります。これからはより広域から多くのお客さまが来場下さると思っております。ユニクス秩父はいつ来ても「快適で、楽しいところ」と感じて頂けるような施設にしていきたいと考えております。

シネマ棟には「ユナイテッド・シネマ」さま以外にも「パシオス」さま、ゲームセンター「Secret Base」さまにご出店頂き、また既存棟では「タリーズコーヒー」さまがリニューアルオープンし、これまで以上に魅力的な「Newユニクス秩父」が誕生しました。施設としても映画館を中心に新たな地域の活性化を図っていきたくと考えております。

新日本ビルサービスは施設開業以来、ユニクス秩父の運営管理業務を任されており、警備・清掃の各スタッフは日々安心・安全で、居心地の良い施設を提供できるよう業務に励んでおります。これからはより広域から多くのお客さまが来場下さると思っております。ユニクス秩父はいつ来ても「快適で、楽しいところ」と感じて頂けるような施設にしていきたいと考えております。

ユニクス秩父は2009年11月、23店舗が出店する複合ショッピングセンターとしてオープンしました。以来、地域の皆さまからご支持を頂き、秩父になくてはならない施設としてご愛顧頂いております。そのような中で、オープン当初からお客さまの映画館への願望が非常に多くございました。なぜなら、秩父地域には過去29年間、映画館がなかったからです。地元の方々の多くの要望を受けて秩父市にもシネマ誘致のために法規制の緩和に動いて頂きました。いよいよシネマ棟増築計画が本格的に動き出し、晴れて2022年7月29日、「ユニクス秩父シネマ棟」がグランドオープンいたしました。

皆さま、こんにちは。今回は埼玉県秩父市にオープンしましたユニクス秩父シネマ棟をご紹介します。ユニクス秩父は2009年11月、23店舗が出店する複合ショッピングセンターとしてオープンしました。以来、地域の皆さまからご支持を頂き、秩父になくてはならない施設としてご愛顧頂いております。そのような中で、オープン当初からお客さまの映画館への願望が非常に多くございました。なぜなら、秩父地域には過去29年間、映画館がなかったからです。地元の方々の多くの要望を受けて秩父市にもシネマ誘致のために法規制の緩和に動いて頂きました。いよいよシネマ棟増築計画が本格的に動き出し、晴れて2022年7月29日、「ユニクス秩父シネマ棟」がグランドオープンいたしました。



ユニクス秩父支配人 山崎 俊明

(株)ピアアンドデイコンサルティング



開発事業本部マネージャー
山本 喬 様

2009年11月のオープンから約13年経過した2022年7月29日、シネマ棟を開業致しました。計画当初は用途制限によりシネマコンプレックスは建築不可であったものの、将来の増床を見越した建物配置計画を策定し、2019年の秩父市告示(地区計画整備)によりシネマコンプレックスを含めた増床建築が可能となったことを受けて増築計画に本格的に着手。冒頭の開業を迎えるまで当社としては約15年超しのプロジェクトでありました。シネマ棟にはシネマコンプレックスの他にアミューズメント施設、パシオス様にご出店頂きました。この3店舗はいずれもウニクス秩父の既存商圏を超えた範囲から集客できる魅力度を有しており、これまでウニクス秩父に来院したことのない新規顧客開拓が期待でき、既存テナント様への波及効果も含め施設全体がより一層活性化することを狙いとしております。

この度のシネマ棟増築工事期間中は既存棟の営業を継続しながらでありましたが、山崎支配人をはじめとした施設管理スタッフのご尽力のおかげでお客様事故や既存棟テナント様からのクレーム等もなく、無事に開業を迎えることができました。ありがとうございます。

秩父郡市一番のネイバーフッドショッピングセンター、秩父郡市唯一のライフスタイルショッピングセンターとして、これまで以上に地域の方々から支持される施設づくりに向けて今後とも宜しくお願い致します。

■ウニクス秩父

〒368-0031埼玉県秩父市上野町805-14 TEL:0494-21-5294
駐車場563台・駐輪場228台

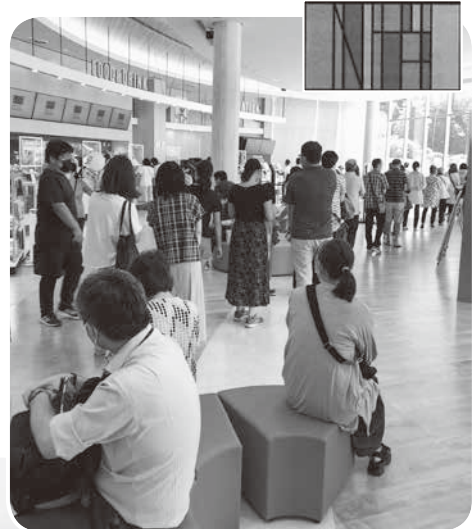


▲新規オープンのパシオス様出店で多くのお客様が足を運ばれます。

元気いっぱい体を動かすちびっこたち。



▲キッズ向けゲームから体感型ゲームまで家族全員が楽しめます。



▲映画の入場が待ちきれません！多くのお客様が列を成します。



▶タリーズコーヒー前の広場青空の中おくつろぎ頂けます。

左遷社長の逆襲 宇宙へ！

キャノン電子株式会社

代表取締役会長

酒巻 久様

1 酒巻会長の経営者としての

原点

— 酒巻会長の生い立ち、学生時代のエピソード、キャノン時代のご経歴、その中で経営者として培ってきたもの、マネジメントの真髄として掴んだものを聴かせてください。 —



▲いくつになってもバイタリティ溢れる
キャノン電子：酒巻久会長様

あんまり自慢できない学生時代ですね。でも、勉強が好きでした。大学時代に経済の勉強とか、法律の問題も専門家から教えてもらって、それが若いときだから、ひじょうに良かったんです。

本を読むこともとても好きでした。子どもの時から、漫画でもなんでも読みました。ここ最近では読むのが遅くなりましたが、だいたい30分で1冊読んじゃいます。それが特技になっていましたね。経営書とかは一字一句読んでいかないと前後の関係が分かりません。

ですが、僕らが学生のとき読んでいた本は、前後の関係を読めば、大体すぐ読めちゃうものでした。例えば、アメリカの大統領の演説は、動詞読みでぱーっと見て、ここが心臓部だよって、そこだけ読めばいい、あとは読まなくていいって頭の

中で整理して読みます。

1967年にキャノンに入社しましたが、なかなか採用してくれない中でキャノンが採用してくれたんです。当時のキャノンは、本当に日本でもトップクラスの人がいっぱいいましたね。

私が一番最初にすごいと思ったのは、三井さんという人です。広島と長崎に落ちた原爆を（何が起こったのか混乱している中で）査定して、間違いなく原爆であると軍にレポートを提出した人です。三井さんの部下がノーベル賞を受賞した湯川秀樹さんとか、朝永振一郎さんです。

山崎さんという先輩は陸軍の技術のトップを務めた方で、「これからは電卓の時代です。電卓を3カ月以内で設計しなさい」と指し示るんです。我々はアナログしかやっていないでしょ。だから、電卓なんかどうやってやるんだよって。そういうのを、物言わずにほとんど聞かずに、その勉強をしない、という感じでした。こういうテーマを結構与えられましたが、そのときは家になかなか帰れず、泊まり込みで、実験や設計をしたことも度々ありましたね。

こういったことは、会社で働く者はすべて能動的たるべし」とするキャ

ノン初代会長が作った、「三自の精神」につながります。自分で考えて動かないと駄目ですね。言われて動くようでは、しょうがないです。三自とは「自覚、自発、自治」のことで、「自分の立場や役割を自覚し、何事も自ら進んで行い、自分のことは自分で管理する」という意味です。

一言で言えば、「自分で考えて動け」ということで、そこにあるのはキャノン伝統の「人材育成の基本は自己啓発であり、仕事の現場こそが人を育てる」という基本思想です。自ら成長を求めない限り、教育の成果は限られる。一つの現場を実際に経験することは10の座学にまさるといのがキャノンの人材育成の哲学であり、僕たちはそれを叩き込まれて育ったんです。

初代会長の御手洗毅（みたらい）さんは面白い人で、昔、アメリカの占領軍GHQがいたでしょ。そのGHQを（G o h o m e q u i c k e y ）「ホームクイックリー」早く帰りましたよと、これは良い会社に入ったと思ったら「開発の人は残りなさい。あなたがたは24時間労働だと思ってください」とって。そう言われると、意外とききほれないものでも、警沢もさせてくれました。「おまえ、なにを食べてんだ」「いつもうどんです」とって言うと、「うどんだけじゃなくて、うなぎでも食べなさい」と

て、鰻重を頼んでくれたこともありま
した。

今では考えられないかもしれませんが
が、本当によく働きました。先人の人
たちが一生懸命働いてちゃんと基礎を
つくってくれたから今がある。今の
人にはそれを感謝する気持ちを持って
技術開発に取り組んでほしいですね。

自分にとっての仕事は、自分がやりた
いことをやりたいだけで、それだけで
す。出世なんかどうでもいいやって。
もともと出世よりも夢の実現こそが願
いで、どこに異動になろうが、どんな
仕事を与えられようが、いつもいい仕
事がしたい、この分野で第一人者にな
りたい、そればかり考えて生きてきま
した。キヤノン時代は、しばしば赤字
の部署を任せられ、「赤字は罪悪です」
とか言われて、そのたびに一番をめざ
すことで立て直しに全力で取り組みま
したね。

キヤノン電子の東京本社では現在、
時差出勤を取り入れていて、朝7時か
ら勤務が可能です。私は6時にはいつ
も来ています。社内を全部見て歩いて
そのときには、4〜5人は来ていて、
「こんなに早く、何時に家を出てくる
んだ。」と聞いたり、「でも、仕事が面
白いらしいんですよ」と言われまし
た。だから、仕事は面白くして、それ

でやらせるってことが一番なんだと思
います。無駄を出さなければいいわけ
ですから。だからやらなくてもそんな
面白くないですよ。自発的にレポート
を書いて、朝一に机に置いていく所長
もいます。

2 キヤノン電子社長への就任 (会社はトップの信念で変わる)

酒巻会長は1999年3月にキヤ
ノン電子社長に就任され、経常利益率
1%実質赤字の会社をわずか6年で経
常利益率10%を超える高収益企業に成
長させました。

私たちは知らない間に自分で自分の
限界・枠をはめて、今まで通りのやり
方で仕事をしていることが多いと思っ
ます。でも、仕事の喜びや生き甲斐を
求める人間の真理は誰でも自分の心
中に持っています。その素直な心に火
を点けることが経営トップの役割であ
り、二度と無い人生において最も大事
なことだと思えます。〃会社のアカス
リ〃で利益10倍の経営の真髄をお聴
かせください。――

キヤノンでは、VTRの基礎研究、
複写機開発、ワープロ開発、システム
開発や総合企画など沢山の仕事に従事
しました。1989年に取締役、19
92年に取締役生産本部長、1996

年に常務取締役を務めました。生産本
部長は、1つの分野ではなく、キヤノ
ングループの技術を一通り分かってな
いと務まらないですね。

キヤノンで、技術畑にいた私が、キ
ヤノン電子の社長に行ってくれとなり
ました。左遷ですね。私は、キヤノン
電子へ行くとき「辞めさせてくれませ
んか。辞めれば行きますって。クビに
してください。」と言いました。

歴代の社長は、キヤノンに籍を残し
ていきましたが、私は退路を断ちまし
た。キヤノンと比べてキヤノン電子の
給料は安いです。でも、金額じゃな
いから、面白いからやってみようって。
お金は大切ですが、ただ、それだけで
は、人間、動かないよと。

キヤノン電子へ行くきっかけは先代
のキヤノン電子代表取締役社長の田中
正博さんです。

田中さんは文系なんですけど、営業の
トップにいた人です。評判がいい人で、
国内の立て直し後に、ヨーロッパ法人
の立て直しに行き、その後、帰国しま
した。

キヤノン時代に部門予算がない状態
のときは、測定器も買えないでしょ。
そうすると、田中さんが「うちの予算
を使え」って結構使わせてくれて、と
てもお世話になりました。人格者で、

お金が多少残っていると、研究費で使っ
ていよって本当に親切でした。

その田中さんが「俺では立て直しは
できないけど、酒巻君だったらできる
はずだ」って、そう名指しがあって、
田中さんの頼みなら、断る理由がない
よねと思いました。

私が入った当時のキヤノン電子は、
利益率1%台にすぎず、しかも多額の
累積負債や不良在庫等を抱え、実質的
には赤字経営でした。そこで私は、赤
字状態から、世界最高峰の高収益企業
になろうと明確な目標を持ちました。
具体的に言いますと、10年で売上高
常利益率15%以上の高収益です。(結
果として、6年で売上高経常利益率を
1%台から10%超の企業に成長させ
た)

キヤノン電子へ来て最初の1年間は、
工場へ行っても、どこへ行っても、1
年間はずっとそこで働く人を見てまし
た。それで、誰が使えそうかを人物観
察の上で、会社再建のための新しい人
事を決めました。

社員にさぼるくせがついていました。
それと、物事を隠す習慣がありました。
それをいかにオープンにするか、その
人を入れ替えるか、また、社員にいか
に自発的に働いてもらうことを考えな
がら改革を進めました。組織の改革、

人材の育成には、どうしても時間がかかります。

また、生産効率を上げるためにすべてを半分にしました。人間や労働時間も半分にしろって。(TSSS1/2 TSS II Time & Space Saving)赤字の会社を良くするってというのは意外と簡単なんです。赤字というのは生産性が低いということですから。技術そのものというよりも生産性です。やり方を治せば、あっという間に黒字になっちゃうんです。今こそ本当は生産性をあげなければいけない。製造業もサービス業も同じです。3人でやっていることを2人で出来ないか。そうすれば30%儲かるわけなんです。

プレミアムフライデーは今も継続していて、その日は、社員を2時間早く帰宅させています。取り入れたときは、工場側から「そんなことはできない」と言われました。私は「おまえ、2時間が1カ月のうちで何パーセントに達するって、1・2%だろうと。1・2%だったなら、簡単に克服できるじゃないか」と言ったら、「それはそうですね」って。今は誰もクレームを言いません。取り入れて生産性は落ちてないですよ。かえってみんな、一所懸命やってくれています。だから、生産性を上げれば

よくなるよって、何回も何回も言うてるだけです。そんなに難しいことじゃないんです。黒字にするっていうのは。だから、やっぱり人間って、本当は誰でもやればできるんですね。それをやってみせるかどうです。どんどん利益が出て、賞与が増えてくると、やっぱり自分たちもやればできるんだなって思うのです。

上司のやり方が間違っている場合もあります。部下のほうには勉強するなとか、講習会に行っちゃ駄目だと言って、そういうやり方を続けると、人間って意外と駄目になっちゃういます。そういうことをやる上司の選び方が悪いんです。それを任せた上のほうや人事も間違っています。若い人が、そういう変な上司が来ると、みんな遊んでしまします。だから、必然的に会社は赤字になります。

3 宇宙への挑戦！

酒巻会長は民間初の宇宙ビジネスへの挑戦をキヤノン電子社長に就任当初から決めており、誰にも言わずに実現への構想をじっくり練り上げておられたことに大きな感銘を受けました。そしてキヤノン時代、上司が語った言葉をいまでも鮮明に覚えておられます。

「これからは複写機の時代です。しかし事業としての寿命はせいぜい30年でしょう。その頃には複写機の代わりになるものと優れた技術の製品が必ず出てくるからです。

それを見越していまから手を打っておかないとキヤノンはジリ貧になってしまいます」

そして、30代になったばかりでキヤノンの長期計画策定のチーフに指名され、30年後を見据えた長期計画をまとめられました。その経験から企業の生存、発展には新規の事業開発が必須と考え、キヤノン電子の社長に



▲酒巻会長の実践に裏付けられた経験談に引き込まれる関根社長と樋田本部長。



▲民間初の宇宙ビジネスに挑戦するキャノングループ民生技術を集結した部品が展示されています。

就任した当初から、ムダのない筋肉質の会社に再生する一方で、新たなメシの種を見つけて育てる必要性も強く感じていた。

宇宙ビジネスが官需主体で10倍から100倍のけた違いのコストであぐらをかいている日本の現状に大きな危機感と義憤を感じ、キャノングループの民生

技術を最大限に活かすことで、日本の国益になるとの使命感が原動力になって

いるとのこと。宇宙ビジネスへの挑戦を実現できたのは、キャノン電子が高収

益企業として生まれ変わり「全てを半分にす

る」を筆頭に酒巻イズムが根つき、「社員が自

分の頭で考え、責任をもって行動し、遣り遂げるための主体性の獲得」があったからです。

まさに私たち新日本ビルサー

きかせください。――

キャノンの時代に、長期構想の責任者を任せられた際、私はこれからはシステムの時代だと思い開発に取り組みました。実際、キャノンは、複写機がなければつぶれていたと思います。ですが、その複写機できえも、30年すると必ず新しい技術が出てくると言われていました。

電話・ファックス・ワープロ・パソコンを一つにしたものでタッチパネル方式の画面に触ることで、電話をかけた

たり、文書の送受信ができたNAVIを開発しました。でも、早すぎて見事に失敗したんです。技術とお金もちよっとあれば、維持できたんですが、お金が集まらない。そうすると、結局

やめるしかないんですね。NAVIをきっかけにステイブ・ジョブズとの交流が生まれ、NEXT Computerを一緒に開発しました。結局はこれも時代を先取りしすぎて、撤退する事になりましたが、会社には技術と人材が残りました。普通の会社は今の成り立っている事業、そこに安住してらるっていうことが圧倒的に多いです。

今うちの主要製品のドキュメントスキャナーですが、2022年4月、同じドキュメントスキャナーを開発している富士通の子会社をリコーが買収

すると発表しました。そのとき、みんな何にもしないでぼけっとしてるので、「彼らが何が強いかって、どういう技術を投入してくるかを考えて対策しなければ、うちなんか負けちゃうよ。」と、頭のやわらかい若い社員にやらせると言いました。今、若い人が喜んでやっています。

私は、キャノン電子の社長に就任した当時から、今の宇宙ビジネス、この構想を既にかけていました。子会社に行って自由にやらせてもらえるんじゃないかと思いました。

私がキャノン電子に来て20年間でやったことは、新しい技術はないんです。ここ50年ぐらい、もっと正確に言うと70年間、新しい技術は出ていないんです。半導体や、レーザーなどいろんなものが出てきますが、昔からあった技術を量産にしたっていただけなんです。

例えばロケットが難しいと言ってますが、案外、古い技術を使っているんです。だから、これからは全体の技術を把握している生産技術部門が大切。生産、設計を分けないで、生産技術の中で、工場の中でみんなで作るようにならなうって方がよい。ステイブ・ジョブズなんかまさにそうですよ。彼は新しいものなんか作ったことがない



▲酒巻会長のインタビューに力と勇気と信念を与えて頂きました。

んです。要するに、組み合わせたの技術です。

それで、宇宙開発のために資金300億をためようって、赤字をなくして、それから300億ためたんです。そのため、100個作ったら100個良品が出るような体制にすることを目標にしました。1万個作っても1万個良品がでるように徹底的に訓練しました。ポイントは「勝つための仕組みづくり」で、「生産技術の強化」で不良をなくし、量産ラインで

「直行率100%」の生産体制を確立しておけば、ムダがなくなり利益に直結することができると。

だから、いろんな大手のところに注文をもらって組み立てますが、うちのコストは圧倒的に安いんです。中国よりも安いと言われます。(資金コストは倍近い差があるが、生産技術強化により不良品が少ないため手直しの必要などがなくトータルのコストでは逆転する) 民間初の宇宙ビジネスに挑戦すると優秀な学生とか、この分野で実績を上げていく方々が志に共感して来てくれました。東京大学や名古屋大学などからも、いい人が集まってきました。優秀な人が集まるようになると彼らが、数学でもなんでも、あつという間に解いちゃうんですよ。それを見た社員は、彼らのまねをしたい、これじゃいかんと、周りが一生懸命になりますよ。結局、会社全体が活性化してよくなりました。

民間の宇宙ビジネスというのは、今までは官需で行ってきたので、民間と比べ、部品1個100倍するものもあります。民間では1万円で作れるものが100万円したりととても高いです。ですが、人工衛星に実装してみると、最初に壊れたのは宇宙製品でした。民間で大量生産している部品は、宇宙でも通用するんです。やっぱり信頼性の試験を何

回も徹底してやっているからです。

民製の部品っていうのは、結構質がいいんです。ですが、未だに民間部品を認めない風潮があります。だから遅れちゃうんです。コンピューターだって、昔は技術的に日本が一番優れていました。

将来的に宇宙事業が日本で伸びることは難しいのではないかと思います。私は、海外も視野に入れています。社員を出張へも行かせています。

ホンダジェットが小型ジェット機で成功したのは、アメリカに行ったからです。

4 新日本ビルサービスの評価と期待すること

16年前に酒巻会長に秩父本社工場をご案内頂き、大きな刺激を受け、経営のあり方を直に学ばせて頂きました。その後、さわやか講演会に講師としてお越頂き、仕事を通じて私たちのメンターとしてご指導賜っています。心から感謝申し上げます。

上の人間が現場に頻繁に顔を出し、よく見てあげるといことが大事です。現場の人たちと上の人間との気持ちの遊離して可能性があります。

うちに来る御社の人は一所懸命やつ

てくれてますが、やっぱり現場へ行って、直接見て褒める。あるいは気付いた点を伝えることが大事です。上のものが見てあげることが、その人を伸ばす一番の秘訣なんです。

あと、うちの社員で、掃除の神様みたいな人がいます。彼女の掃除を見て、如何に気持ちを入れてやってるか、ご紹介します。クリーンルームやトイレとか、その人がやると、本当にきれいになるんです。定年になって一度辞めたんですが、もう一回出てきてもらいました。今はもう70歳になっていてと思います。クリーンルームでもごみがたまるんです。彼女に掃除をしてもらったら、不良が激減しました。

5 仕事と人生において大事な こと

人生において大事なものは、尽きることのない好奇心ですね。それと学び続ける向上心が大事なんです。うちなんか、母親が立派だったんです。小学校のときも高校のときも、うちから山の中を歩いて1時間ぐらいかかります。小学校のときも母親が、「本は全部、学校に置いてきなさい。机の中に全部入れて、そのへんのこと全部覚えてきなさい」と。それで、うちへ教科書を持って帰ると怒られたんです。お小

遣いをくれないとか。今から思うと、母親に厳しく育てられた経験は役に立っています。

人の話をよく聞いて、それを理解した上で行動するでしょ。一回メモに書いておくと、意外と忘れちゃうんです。良く聴いてそれを全部覚えちゃって、それでやっていく。それが母親の教育です。「家で勉強なんかやってるんじゃない、勉強なんか学校でやってくれば十分だよ」なんて言われました。うちへ帰って家の手伝いで勉強する暇がないから、学校で一所懸命聴きますよ。そういう教育は、昔の人のほうがちゃんとやってくれたんじゃないかと思えます。

それと、とにかく人に会うことが大事なんです。僕らは若いときから全世界を回らせてくれたので、それは得難い学びになりました。あと、本を読むこと、読書も大事です。私は、面白い本はジャンルを問わずなんでも読みます。社長室には『カムイ伝』などのマンガもあります。

面白いですよ。最近はやりませんが、お風呂場で半身浴をしながら読みました。お風呂場で読むのが一番頭に入ります。じゃあ、僕の部屋を、整理整頓が全然できてない部屋を、ついでに見てってください。



▲尽きることのない好奇心、学び続ける向上心、あらゆるジャンルの膨大な書籍がある会長室にて生涯青春!!
キヤノングループ「三自の精神」を我が事に身に付け、共に進化向上してまいります。
酒巻久会長様、ありがとうございました!!



株式会社第一ビルメンテナンス様 訪問！

研修センター

令和4年6月29日(水)

横浜支店 次長 関根 陽太郎



東京都渋谷区にある、第一ビルメンテナンス様の研修センターに訪問いたしました！
主に新入社員や新たなさわやか社員、また営業の方々向けの研修施設として、清掃・設備それぞれの設備が所狭しと並んでおり、訪問した社員一同関心しきりでした。同じビルメンテナンス業界として、非常に刺激を受けるひと時でした。ありがとうございました！！



◀ やっぱリアルな交流は最幸です。やや興奮気味に「生涯青春!!」



▲阿部課長より清掃設備のご説明をいただきました。わかりやすい・・・

▼雑排水槽設備の説明。スケルトンで水の流りが理解できました。



◀ビルクリーニング技能士試験に特化した施設。



◀空調設備のサンプル。圧巻です！



◀さまざまな管のサンプル。鈴木課長も興味津々！



▼防災盤の操作ができます。



◀消防点検用の感知器など。



▶カフェスペースで憩いの場も完備。WEB会議として人気とか！



▲ビルクリーニングの基本を学べます



▼スケルトンの設備に興味津々の鈴木課長。

ファシリティサービス部 次長 阿左見 佳久



第一ビルメンテナンス様はマンション・オフィスの管理が多いことから、それらの建物によくある設備のほとんどが研修所に実際に設置しており、実際に操作して動かすことができ、よくある警報の対応も学ぶことができるようになっていました。

主に新入社員や営業の方向けに考えられており、私たちも一人でも多くの設備エンジニアを育てていくために、現場での研修の前にしっかりと学ぶことのできる研修所は憧れです。

また、このような研修所があることで設備以外の方にも興味を持って頂いたり、会社としての対応力の強化にも繋がっていると感じました。

品質開発部 環境衛生課 課長 鈴木 大陽



第一ビルメンテナンス様研修センターを訪問し、主に品質管理部が担っている研修・育成システムと提供サービスの品質管理の在り方を見学・拝聴させていただきました。

どの取組も弊社の数歩先を行っており学ぶべき点ばかりでしたが、特に提供サービスの品質管理の仕組みが大変勉強になりました。

第一ビルメンテナンス様では品質管理部という独立した部門が監査を行っていて、監査の焦点の絞り方(監査項目が課題・指摘事項の解決に絞っていると推測)と人員配置(本気度)が、これまでの弊社の取組との最大の違いだと感じました。弊社に比べより大企業的手法で成果を出されており、課題解決の手法として何か取り入れられないかと感じた研修となりました。

東京営業部 主任 中山 耀太



第一ビルメンテナンス様の研修センターは、日常清掃の方法からビルクリーニング技能士試験の合格のための会場まで取り揃えられており、段階を踏んで成長できる場所だと思いました。設備は仕組みやトラブルの際の対応方法について、実践的に学ぶことが出来る場所だと感じました。

また、様々なお話を聞く中で、品質管理部という部署が、現場や全体の監査として機能する役割という話を聞き、緊張感があるなと感じました。改善すべき点が改善されているか、物件担当者とかわやか社員だけではなく、第三者のチェックが入ることで、徹底されていくのだろうと思います。その他の取組も、全体的に目的が明確であり、自分たちの課題をしっかりと見つけ、改善方法を見つけ出すこと、その後継続していくことを徹底していくことは、学ぶべきことだなと強く感じる時間でした。

— 新日本グループ 5Sインストラクター養成講座 —

第9期生 5S先進企業見学会

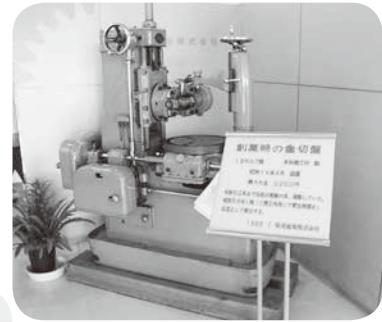
令和4年7月19日(火)

～創造と技術のハーモニー～

菊地歯車 株式会社 様

足利流5Sを取組み出して18年が経過という、5Sの大先輩！
目指すべき姿、社員教育・5S改善を学ばさせていただきました。

◀ 本社入口に展示されている
創業時の歯切盤。



◀ 菊地社長(右)と中川原常務、
ありがとうございました!!



▼ 3Dプリンターを活用しての姿置き！



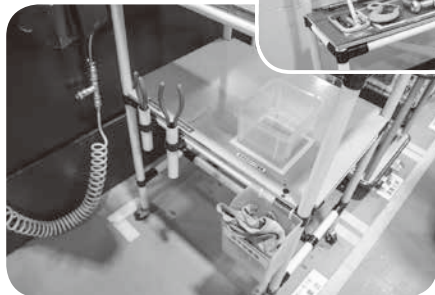
▲ ご担当くださった田部井係長、
ありがとうございました！



▼ ホワイトボード活用して
5S・VM見える化！



▲ 自転車ギア加工の説明に
参加者は興味津々！



▲ 工具は使うモノだけを取り出しやすく！
全てに担当者が決まっています。

▼ 文具はホームセンターのように
発注点管理されています。



◀ 5S同志の菊地歯車様と、
生涯青春!!

～美しさと縫製の耐久性～
株式会社 都ドレス 様

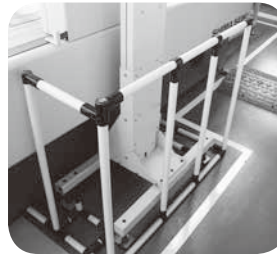
栃木県佐野市にある縫製工場の都ドレス様は、5Sで多品種少量生産短納期を可能に！
 たくさんの創意工夫の刺激をいただきました。

足利流5Sの実践の特徴「資期探現」

「資」は、資料を作らない。5Sは現場を見ればそのレベルがすぐわかる。あえて無駄な資料は作る必要が無い。
 「期」は、期限を切らない。期限を設けるとプレッシャーとなりやらされ感が強くなる。
 「探」は、探点はしない。探点すると点数ばかりになり5Sが嫌になってしまいます。
 「現」は、現場第一主義で現場中心の改善。作業者の自性を尊重する



▶若手リーダーの皆さまからご説明頂きました。



▲パイプツールでも人も機械も守ります。

▼離れていても加工出口が見えるナイス改善！



▲松本社長、大人数の受け入れをありがとうございました！



▲使う人に合わせた清掃道具で小掃除実践！



▲安全が見える化！



▼ラインテープで動線確保！

▼都ドレスの皆様と“生涯青春!!”



▶岡田先生作のビニール掛け！



やってみよう！

受講生の感想



(株)志田水産
 鈴木 駿さん

見学翌日から自部署の社員を巻き込んでパイプツール作りを始めましたら、社員の自主性が出てきました！



(株)武蔵屋
 井野 貴博さん

自らの業務改善・職場の改善として率先して活動していける様に、真似をしていきたいと感じました。



(株)武蔵屋
 狩野 卓也さん

定置化に悩んでいる部分もあったのでこの部分を急ぎ真似していき、自工場に沿った形で応用致します。



新日本ビルサービス(株)
 牛田 秀樹さん

教育の部分では自分の業務のヒントになることも多く、部門・現場のレベルアップにつなげていきたいです。



新日本ビルサービス(株)
 木村 徹さん

コスト意識を持たせるPOP等参考になるアイデア満載！自らが働きやすい環境を構築する事に貪欲に取り組まれていた。

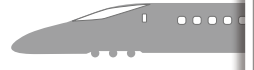


新日本ビルサービス(株)
 日下部 敏明さん

問題意識の感じ方から、改めて考え直す良い機会となった事が今回の収穫です。

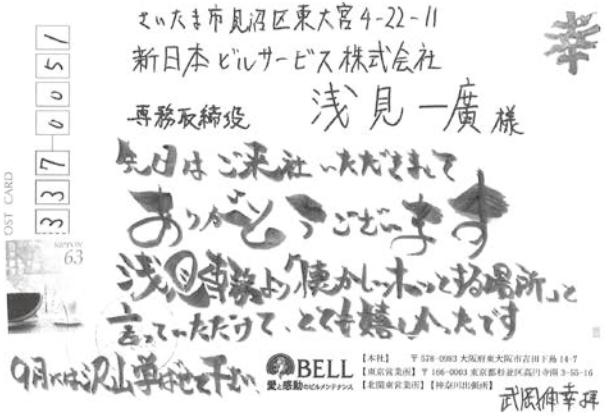


久しぶりのベンチマーキング



～大阪の株式会社ベル様を訪問してきました!!～

令和4年7月20日(水)



専務取締役 浅見 一廣



新日本グループ次世代を担うメンバーと大阪の株式会社ベル様を訪問しました。ベル様は日本ビルメン経営品質協議会の同志で、私がベンチマーキングに行った最初の会社です。古くから知っている仲間たちが笑顔で出迎えて下さり、元気に活躍されている姿を目の当たりにして何か懐かしい場所に帰ってきた気がしました。社員の幸せを本気で目指している奥社長は相変わらずエネルギッシュで、東大阪市を中心に様々な事業に挑戦されています。ご自分で釣り上げた魚を社員の皆さんに振舞うなど、その姿勢と想いを見習いたいと感じました。

また若いメンバーと同じ時間を過ごし様々な話をする中で、これから自分は何をなすべきかを考える中身の濃い時間になりました。改めてリモートではなく直接交流することの大切さを再認識でき、このような学びの機会を多くの社員に提供していきたいと思えます。



◀お互いに刺激し合って、最幸の会社を目指しましょう！
ご縁に感謝して「生涯青春」

ベル様訪問を終えて



横浜支店 次長 関根 陽太郎

初日の到着後、株式会社ベル様に訪問いたしました。創業も当社とほとんど同時期がゆえ、ベル様が歩まれた歴史について奥社長からのお話は非常に参考になりました。同じ業界の同志としてこれからも切磋琢磨し歩んでいきたいと思うとともに、日本鳩対策センターを始め新たな事業も成功させており勉強させていただきました。誕生日サプライズなどの社内イベントの様子も拝聴し、素敵な雰囲気でごちらまで温かい気持ちになりました。

皆様それぞれの軌跡から思い、またこれからの姿についてなど普段の業務では聞くことのできない、たくさんのお話をお聞きできました。お忙しい中、誠にありがとうございました。

▼奥社長・武田常務から「ベルタウン構想」についてレクチャーいただきました



▲整理・整頓の行き届いた資材・マシン倉庫



▼デイサービスで提供している昼食「とっても美味しい」



◀驚きの奥水産「社長がさばいて提供します」



㈱武蔵屋 取締役経理部 部長 小林 廉

奥社長の『日本一の感動企業』を形にされた、『ベルシティ構想』の夢あふれるお話に感銘を受けました。そして、ビルメン、鳩対策、保育園、デイサービス、Web開発等、新しい事業に積極的に取り組んでおられる御社に心から憧れております。

「愛と感動のビルメンテナンス “ありがとう!” “そこまでするか!” “さすがプロ!”」日本一の感動企業になる! 未来輝く会社をつくる! のお言葉を私たちも心に刻み、私たちも元気よく御社の背中を追いかけまわりたいと思います。



㈱武蔵屋 取締役上尾工場長 月田 真人

この度は、貴重な研修の機会をいただき誠にありがとうございました。

株式会社ベル様では、奥社長様の築かれた、社員が生き生きと働く社風は、社長ご自身が多くの苦難に遭遇し、乗り越えてきたからこそ到達できた成果と感じます。また、多角的にビジネスを展開されている点も、社員が会社に寄せる信頼の賜物ではないかと感じます。5Sを通じ、会社と社員がシナジーを起こす素晴らしい社風であり、こういった文化を目指していきたいと考えます。

今回初めて、ベンチマーク研修に参加させていただき、濃厚な学びの機会をいただきました。

また、改めて直接人と触れ合い、交流することの意義や重要性を再認識し、成長するには、もっと表に出て経験をつまなければならないと思う次第です。

この度は、数々の大変貴重な経験をさせていただき、誠にありがとうございました。



コミュニケーションスキルアップ講座開講

30期より、メンタルコーチの西田明先生による、コミュニケーションスキルアップ講座が開講いたしました。毎週火曜日の3ヶ月間、西田先生ご指導のもと、若手社員を中心に「コミュニケーションとは??」を多めに学び、成長につなげていくコースです。



【西田 明先生プロフィール】

1965年生まれ。富山県出身。高校卒業まで富山県で育つ。

筑波大学卒業後、野村證券に就職。

30歳で独立し海外直輸入コンサル業務等を行う。

自身の経験によって「心の専門家の必要性」を強く感じ、心理学やメンタルコーチングを学び、トレーニングを受け、メンタルコーチとして独立。現在、企業や中学、高校、大学サッカー部、保護者等のメンタルコーチとして活動している。

サッカーモンゴル代表U20メンタルコーチ歴任。

仕事も家庭も順調な中、40歳で弟がアルコール依存症を発症したことをきっかけに、「アルコール依存症家族の会」で心の勉強をし、本人の問題だけではなく、家族の心の癖(認知のゆがみ)が、さまざまな問題として現れることを学ぶ。その中で私自身にも、心の癖(認知のゆがみ)があることに気づくが、簡単には治らず、私自身にも仕事や家庭に問題が起こる。

一方、弟は闘病しながら、ゲシュタルト療法や心理学、コーチングなど様々な心の勉強をしながら少しずつ回復していく。そんな弟に今度は私が助けられていく。それまでは「成果を出さなければ自分には価値がない」と思っていたので、「成果が出ない自分」を責め続け、前に進めなくなっていた。弟はそんな私を受入れ自分の考えを押しつけるようなこともなく、ただ、寄添い話を聞いてくれる。そうしていく中で、少しずつ自分を責めることが少なくなり、自己受容ができるようになる。そうすると自然とエネルギーが出てきて前に進めるようになる。

メンタルコーチングは、人がどう思うか一旦脇に置いて、まず「自分のやりたいこと」を尊重します。小さいことでもいいので「本当にやりたいこと」を探して他人の目を気にせず「やってみよう」と声をかけてトライをしていく勇気を与えていく。「こんなふうにやってみたら少しだけ楽しくなるな」となって、「では次はどんなことをやってみようか」と考えていけるようになり、どんどんやってみる。そうしていくことで「いろんなことやってみたいし、実はやってもいいんだ、できるんだ」ということに気がついて主体的に考えて行動できるようになっていきます。

「自分のやりたいことができる」に気づくことで「相手のことも大切にできる」ってことがポイントです。自分のことを幸せにしながら、周りの人にも「やりたいことやってみなよ」とサポートしたり、自身がやってみて発見したもの、手に入れたものを相手にもシェアする。「自分が先に幸せになること」を繰り返し実践し、身につけていくことで人のサポートもできて「みんなが幸せになる」ことが起こります。このような考え方や行動の仕方が身につけてくるのをサポートするのが「メンタルコーチングの神髄」です。



▲西田先生の講話に吸い込まれます!!

▼コーチングのポイントを伝えるホワイトボードに集中!!



▼西田明先生を囲んで。スキルアップを目指します!!
写真左から第2期生 細田智也、伊藤美輝、知見寺美紀、西田明先生、鈴木大陽、中山耀太、阿左見佳久



受講を終えて ～第1期生～



横浜支店 次長 関根 陽太郎

この度は大変貴重な機会を頂戴し、ありがとうございました。新入社員へのコーチング以前に自分自身の心の在り方を問われ、非常に考えさせられる3か月でした。また拠点を越えたメンバーでの研修も実りある時間でした。学んだ内容を踏まえ昇華できるよう、これからも精進していきます。



東京営業部 次長 上田 正俊

今回、コミュニケーションスキルアップ講座の1期生に選ばれて、東京本部にて12回にわたって勉強をさせて頂きました。

今回の講座で一番重要だと感じた事は、現状の把握→未来の想像(どうなりたいか)→行動の変容(その為はどうしたら良いか考えて行動する)です。自分にせよ、部下にせよ、上記を考える、考えさせる事で自らが考えて正しい方向へ動いていく事が出来る様になるのだと思いました。

今後は無理矢理に自分の意見を押し付けない様心掛け、相手を変えるのではなく自らが変わる事で周りも変わってくる様な形へと繋げていければと考えております。

現在は2期生の講座もスタートしておりますので1期生としてバックアップさせて頂きます。



品質開発部 定期メンテナンス課 課長 木川 亮

今回講座を受けさせていただきありがとうございました。部下との対話においてアドバイスや助言ではなくまず聞き手に回り質問により考えて行動できるよう促すと学びました。私は基本的にアドバイスをするのは得意だと感じてはいましたが、それでは考える部下は育たないと学び、今後は質問により引き出したいと思います。

全体的に対話の大切さ、話し方や聞き方の姿勢、コントロール型(強く命令)ではなくファシリテーション型(一緒に組み立てていく)上司である事、ティーチング(教える)ではなくコーチング(引き出す)接し方をする事と学びました。後輩社員の考働に繋げるのももちろんですが、自身の成長の為にも実践していきたいと思っております。



品質開発部 主任 小野田 和幸

今までの自分は若手社員に対して直ぐにアドバイス、指導をしていました。その為、思うようにいかないと自分自身にいら立ち、かなり悩んでいました。

この講座を受講し、先ずは自らの感情をコントロールし、アドバイスはせずに質問を投げかけることにより自己対話を促進させ、若手社員自ら行動変容をおこさせるという新たな気づきを与えて頂きました。

現在、品質開発部ではビジョン30に向けて増班体制をとるべく若手社員の教育に力を入れています。

この講座で学んだことを活かして、若手社員が立派な施工リーダー(責任者)となっていけるよう手助けをしていきたいと思っております。

部門の皆さんにシフト調整等協力頂きながら、コミュニケーションスキルアップ講座(全12回)を受講させて頂き貴重な経験をさせて頂きました。有難うございます。



ファシリティサービス部 町田 晃平

コミュニケーションスキルアップ講座を受けて私自身非常に良い経験になりました!

今回の研修での内容としては後輩との接し方についてです。今までずっと現場作業をやってきた為、学ぶ機会がなかったので色々勉強になりました。

その中でも一番勉強になったのは挨拶です。

ただ、挨拶するだけなら誰でもできると思いますが、挨拶をする際に名前を呼ぶということは今まで意識していませんでした。名前を呼ばれながら挨拶すると、その人にとっては特別感を与えられるという事を聞いて非常にいい勉強になりました。



ファシリティサービス部 渡邊 亮

研修を重ねるごとに、この研修がなければ後輩とのコミュニケーションをあまり意識せずに過ごしてきたことに気づいた。相手の話の引き出し方の基本として学んだ「白紙で聞く」は、こうした機会がないと一生知り得なかったことであり、自分の経験だけで語り、アドバイスすることしかできなかったと思う。アドバイスだと相手の考える力を奪ってしまい、相手はどう考えているのかが分からないままになってしまう。相手の考えを促進させるように問いかけを意識していくことを学んだ。

他の部署や年代の方の意見や考え方が自分にはないもので、とても新鮮に感じるとともに、そういう視点もあるのだということを知ることができた。



憩いのコーナー さわやか広場



アスム様 ご来社

2022年6月29日(水)



資生堂グループ(株)アスムの笠井本部長と渡部部長を囲んで生涯青春!! Heart to Heart の交流に感謝です。

ビバホーム様 ご来社

2022年7月13日(水)



(株)ビバホームの小倉マネジャーと有國様と元気ハツラツに生涯青春!! 新たな価値創造に共に挑戦します。

パラミタミュージアム

2022年6月24日(金)



イオングループの礎となる人事・教育を担った小嶋千鶴子氏の個人美術館「パラミタミュージアム」に感動しました!!

古谷寛様 訪問

2022年6月24日(金)



イオン副社長、イオンDNA 伝承大学学長を歴任された古谷寛様の滋賀県彦根市琵琶湖近くの素敵なお自宅にて。

さいたま市見沼区ロードサポート

～日々のメンテナンス風景～

水やりやゴミ拾いを行います。
散水機の台車は手作りです!!



2022年6月16日(木)

田中見沼区長と職員さんを囲んで生涯青春!!
東大宮駅前通りを花でいっぱいします!!



発行日 2022年9月10日
発行所 新日本ビルサービス株式会社
〒337-0051 埼玉県さいたま市見沼区東大宮4-22-11
電話 048-667-3900 FAX 048-667-3663
ホームページアドレス <http://www.snb.co.jp/>
発行人 関根一成
編集者 SNB社内報委員会
印刷所 株式会社秀飯舎 〒331-0058 埼玉県さいたま市西区飯田70番地

編集後記

仙台育英高(宮城)が夏の甲子園を制し、春夏通じて初めて優勝旗を東北に持ち帰る「白河の関越え」を達成しました。「白河の関越え」を願って1997年から東北6県の出場校に「通行手形」を贈り続けた白川神社の願いが叶いました。にわかファンではありますが、私は宮城出身ですので地元学校の優勝は嬉しいですね。自然災害続きの東北に明るい話題と元気を与えてくれた高校球児に感謝です。(E.O)